



2012年度 見学並びに懇親会印象記

秋色の京都路へ

～話題の京都水族館と洗練の空間
北山モノリスでの懇親会～

2012年10月24日(水)

追手門学院大学 教育後援会会報

見学並びに懇親会印象記

事業委員長
織田 弘美

十月二十四日(水)、まさかの電車事故のため、出発時間大幅遅延のアクシデントもありましたが、約百二十名を乗せたバス三台は新大阪を出発し、大原三千院・東寺・京都水族館見学会、懇親会への旅が始まりました。

大原三千院ではまだ少し紅葉には早い時期でしたが、客殿から見た聚碧園(しゅうへきえん)の美しさ、往生極楽院阿弥陀堂では阿弥陀如来様を中心に、大和座りの勢至菩薩(せいしほさつ)様、観音菩薩様と珍しい拝観もできました。金色不動堂、観音堂、石仏なども見て回り、苔生した中にある童子蔵の顔の優しさにも癒されました。

昼食後は特別拝観の東寺へ。まずは国宝五重塔の内部に入り心柱を囲む四仏坐像、柱に描かれた金剛界曼荼羅、壁に描かれた真言八祖像(しんごんはっそう)を拝観。講堂では如来様、菩薩様、明王様他二十一体の仏様、お寺の方

の解説もありしつかり拝むことができました。本坊に入り襖絵、欄間、天皇様のお部屋など滅多に見ることのできない所まで案内していただき感動ものでした。観智院では宮本武蔵が描いた驚の図や竹林の図、五大の庭、五大虚空蔵菩薩(ごだいこくうざうぼさつ)様、愛染明王様等も拝観でき、お抹茶でひと時の休息もありが良かったです。

東寺を後にして今年三月にオープンしたばかりの京都水族館へ。入ってすぐに大きなオオサンショウウオに驚き、チューブ状の水槽から顔を出すアザラシの可愛いこと。山椒とオオサンショウウオの臭いの違いも嗅ぐことができたり、ネコザメの肌を触ったりもできて面白かったです。

北山モノリスでの懇親会では目でも楽しめる美味しいお料理が運ばれ楽しい時間を過ごすことができました。

時間的に足早な一日でしたが、会員の皆様と共に実り多い秋の一日を過ごすことができたこと、感謝申し上げます。

ありがとうございます。

発行所
追手門学院大学
教育後援会
〒567-8502
茨木市西安威2-1-15
TEL 072 (641) 9668
FAX 072 (641) 9664
印刷所
株式会社 七旺社
神戸市長田区一番町2-1
TEL 078 (575) 5212

学長就任ご挨拶



追手門学院大学学長
坂井 東洋男

教育後援会の皆様には、何かとご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

また先日はバスでの京都見学会、ありがとうございました。三千院に東寺、さらには水族館の見学、そして夕刻からは北山での懇親会と、それぞれに愉しく、有意義でありました。個人的には、水族館の泳がないペンギンには身につきませんでした。わたしは金槌ではありませんが、弱みを持ちながらも、みんながんばっているなあと。立ち去り際にベンギンさん(君?)にかけられた理事長夫人のひとこと「あんたがんばりや」には、胸にこみあげるものがありました。

京都で生まれ育ちましたが、三千院を訪れたのは中学三年以来のこと、東寺の境内に足を踏み入れたことは記憶にありません。京都に寺院は数あれども、お誘いがなければ拝観することはめったにない。知人の京都人にもそういうズボラ者は珍しくありません。機会があれば、ほかの寺院も拝観してみたいと思いました。

この原稿を書いているいま、大

学は学園祭の最終日です。十一月四日は卒業生のホームカミング・デーで、来賓もまじえて盛大な催しとなりました。

十一月三日には体育祭や將軍山祭の開会式のあと、大阪城スクエアで六期生の還暦のお祝いの集いなど、行事が盛りだくさんで、模範店などをゆつくり見てまわるゆとりがありませんが、学生諸君は元気です。

数日前には学生のFD(授業改善)グループの諸君たちと、理事長、学長が授業のありようめぐって直接対話する集いもありました。約三時間。ひとりの大学だと、こういう集会は「大衆団交」と称して険悪な雰囲気になりかねなかった。ですから、現在でもこういう集会を受けて立つ大学は噂にも聞いたことがありません。しかし、追手門学院大学は、学生が主役の大学です。学生の声には謙虚に耳を傾けたい。控えめながら思慮深い発言があいつぎました。

人前で勇気をもって堂々と発言できる学生を育成することは大学の重要な使命です。将来社会に出てから役立つのはこうした勇氣と活力です。大学は力を結集してそのための環境づくりに努力してまいります。

2012年度 教育後援会 役員・委員

〔役員・委員長（実行委員）〕

職名	氏名	学年	学科
会長	喜多 康紀	4	英語
副会長	川口 和則	4	経営
	中井 陽子	4	心理
	小林 雅美	4	社会
	眞鍋 陽子	4	英語
	片岡 能婦子	3	マーケティング
会計	岸本 明子	3	英語
	戸田 睦美	4	心理
会計監査	花立 真理	3	アジア
	岡本 洋子	4	マーケティング
学部委員長	辻本 孝恵	4	社会
	大原 慶子	3	アジア
	塚本 悟子	4	経済
	岩下 直美	2	ヒューマン
	小野寺 英子	2	経営
事業委員長	野々村 圭子	2	社会
	原田 邦子	4	ヒューマン
	和田 豊子	4	経営
	宮脇 裕子	4	マーケティング
	笹川 巧子	3	経済
	織田 弘美	2	心理
	兼光 百合子	2	社会
幹事	庶務課長	澤山 裕治	
	財務課長	小坂 淳一	
	教務課長	金沢 良一	
	学生課長	平川 正人	
	キャリア開発課長	吉井 庄治	

〔学部委員〕

職名	氏名	学年	学科
学部委員	多田 陽子	4	ヒューマン
	中野 早苗	4	経営
	金田 年雄	4	アジア
	田中 直美	3	アジア
	川本 桃子	3	英語
	矢倉 明美	2	経済
	北澤 三恵子	2	マーケティング
	桑田 千恵子	2	マーケティング
	長谷川 真紀	2	アジア
	古川 昌道	2	アジア
	密山 弓子	1	ヒューマン
	釋 みゆき	1	心理
	安田 友紀子	1	社会
	圓山 律子	1	アジア

〔事業委員〕

職名	氏名	学年	学科
事業委員	本田 敦子	4	アジア
	藤木 みゆき	3	ヒューマン
	田中 千鶴	3	経営
	渡邊 康二	3	アジア
	中野 久子	2	ヒューマン
	大角 久美子	2	心理
	中牧 弥紀	2	英語
	東畑 千尋	1	ヒューマン
	吉村 正明	1	マーケティング
	栗田 加代子	1	心理
	堤 みゆき	1	英語

二〇一二年度教育後援会総会が六月二日(土)学生会館大ホールにて、午前十時三十分から出席者七四名、委任状一一三九名、合計一二二三名をもって開催しました。(教育後援会規約第六章



二〇一二年度 教育後援会 総会開催

第十一条「総会の決議は、出席者（委任状出席も含む。）の過半数の賛成を必要とする。」ことが規定されており、各議案については、出席者の拍手でもって承認となりました。」

議事に先立ち、二〇一一年度の役員並びに大学の部館長・幹事が紹介され、続いて喜多会長の挨拶、三崎学長事務取扱の挨拶が行われました。その後、次第に従い議事に入り、以下のことが承認されました。

二〇一一年度事業報告

一、大学への助成

(1) 本会の事務処理に対する援助
教育後援会事務担当の定時職員に係る経費の援助を行いました。

二、学生への助成

(1) 学生生活への一部補助

三、家庭と大学との連絡を図る事業

- (1) 『教育後援会会報』の発行
- (2) 『保護者のためのキャンパスガイド』の発行
- (3) 見学並びに懇親会の開催

二〇一一年十月二十五日(火)

二〇一二年度収支決算報告 及び会計監査報告

報告のとおり承認されました。
(三ページ参照)

- (2) 学生奨学金への全額援助
- (3) 経済的困窮者経済困難支援・給付奨学金への全額援助
- (4) 修学援助給付奨学金への全額援助
- (5) 短期貸付金制度への全額援助
- (6) 国際交流活動に対する一部補助
- (7) 就職模擬試験の受験料の一部補助
- (8) 卒業謝恩パーティーの主催
- (9) 冊子「新入生へのメッセージ」の配付
- (10) 記念品の贈呈に対する全額援助

二〇一二年度収支予算案

原案どおり承認されました。
(二ページ参照)

二〇一二年度事業計画案

続いて二〇一二年度新役員案が拍手でもって全員承認され(新役員・委員の方々は左記に掲載)、代表して喜多会長の挨拶が行われました。その後、会長による議事進行のもと、以下の議案が審議されました。

二〇一二年度役員案

前年度事業の見直しを図るとともに、新たに大学創立五〇周年記念事業への協力を加えた計画案が承認されました。

(単位:円)

二〇一二年度収支計算書
(2011・4・1～2012・3・31)

科 目	11 年度予算額	11 年度決算額	差 異
収入の部			
会 員 研 修 参 加 費	46,490,000	46,270,000	220,000
受 取 利 息 配 当 金	1,200,000	965,000	235,000
雑 収 入	20,000	11,558	8,442
当 年 度 収 入 合 計	47,710,000	47,357,558	△111,000
前 年 度 繰 越 金	52,801,436	52,801,436	0
収 入 の 部 合 計	100,511,436	100,158,994	352,442
支出の部			
会 員 研 修 費	500,000	308,229	191,771
教 育 懇 談 会 援 助 費	3,000,000	2,424,038	575,962
学 生 奨 学 金 助 成 費	2,000,000	1,151,218	848,782
学 生 関 係 援 助 費	11,500,000	11,000,000	500,000
学 生 関 係 援 助 費	5,000,000	3,916,742	1,083,258
会 報 作 成 費	850,000	892,309	△42,309
キャンパスガイド作成費	1,250,000	1,039,500	210,500
卒 業 謝 恩 会 費	13,000,000	12,055,546	944,454
記 念 品 費	8,500,000	7,385,600	1,114,400
慶 弔 費	600,000	520,000	80,000
通 信 費	2,800,000	2,229,682	570,318
事 務 費	1,300,000	1,244,408	55,592
広 報 費	700,000	564,480	135,520
雑 費	250,000	84,793	165,207
事 務 処 理 援 助 費	3,500,000	3,500,000	0
予 備 費	3,050,000	50,000	3,000,000
当 年 度 支 出 合 計	57,800,000	48,366,545	9,433,455
次 年 度 繰 越 金	42,711,436	51,792,449	△9,081,013
支 出 の 部 合 計	100,511,436	100,158,994	352,442

(単位:円)

二〇一二年度収支予算書
(2012・4・1～2013・3・31)

科 目	12 年度予算額	11 年度予算額	差 異
収入の部			
会 員 研 修 参 加 費	59,980,000	46,490,000	13,490,000
受 取 利 息 配 当 金	1,200,000	1,200,000	0
雑 収 入	20,000	20,000	0
当 年 度 収 入 合 計	61,265,000	47,710,000	13,555,000
前 年 度 繰 越 金	51,792,449	52,801,436	△1,008,987
収 入 の 部 合 計	113,057,449	100,511,436	12,546,013
支出の部			
会 員 研 修 費	500,000	500,000	0
教 育 懇 談 会 援 助 費	3,000,000	3,000,000	0
学 生 奨 学 金 助 成 費	2,000,000	2,000,000	0
学 生 関 係 援 助 費	11,500,000	11,500,000	0
学 生 関 係 援 助 費	5,000,000	5,000,000	0
記 念 事 業 協 力 費	2,500,000	0	2,500,000
会 報 作 成 費	900,000	850,000	50,000
キャンパスガイド作成費	1,250,000	1,250,000	0
卒 業 謝 恩 会 費	13,000,000	13,000,000	0
記 念 品 費	8,500,000	8,500,000	0
慶 弔 費	600,000	600,000	0
通 信 費	2,800,000	2,800,000	0
事 務 費	1,300,000	1,300,000	0
広 報 費	700,000	700,000	0
雑 費	250,000	250,000	0
事 務 処 理 援 助 費	3,500,000	3,500,000	0
学 生 支 援 基 金	10,000,000	0	10,000,000
予 備 費	3,050,000	3,050,000	0
当 年 度 支 出 合 計	70,350,000	57,800,000	12,550,000
次 年 度 繰 越 金	42,707,449	42,711,436	△3,987
支 出 の 部 合 計	113,057,449	100,511,436	12,546,013

会長就任にあたって



喜多 康紀

二〇一二年度教育後援会の会長を昨年度に引き続き務めさせていただくこととなりました喜多でございます。会員の皆様には本会活動に対しご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本会は、新会員を歓迎する「桜の縁」や、会員同士の教養と懇親を深めるための「見学並びに懇親会」を卒業生保護者の会と共催し、また厳しい就職戦線をサポートするための「保護者のための就職講演会」等を実施しております。様々な行事を通じて会員の皆様が相互に親睦を深め、結束を強め、大学と協調しながら、二〇一六年に大学創立五十周年を迎える追手門学院大学を盛り上げていきたいと思っております。

微力ながら精一杯務めさせていただきますので、本会の活動をご理解いただき、今後も益々のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第46回

テーマ

追来笑 ～おおきに～

将軍山祭

2012年
11月3日～11月5日**第46回将軍山祭実行委員長談**

経済学部 経済学科 4年 大島 充

第46回将軍山祭は、11月3日から11月5日にかけて開催されました。三日間とも晴天に恵まれ、大きな問題もなく無事終了することができました。第46回将軍山祭の運営にあたり、御支援・御協力くださいました関係者の皆様に、委員会を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

今年は「追来笑～おおきに～」というテーマを掲げ、活動して参りました。このテーマには、追手門に御来場して下さった皆様が、にっこり笑顔になれるような楽しい学園祭にしたいという願いが込められていると共に、スタッフが一年間感謝の気持ちを忘れずに、大阪ならではの「おおきに」という言葉を使うことによってより親しみやすく、将軍山祭に携わる全ての人々で作り上げる一体感のある将軍山祭にしたいという願いも込められています。

今年は学園祭の醍醐味である模擬店も例年以上に出店し、将軍山祭名物である大型イベントの、お笑いライブ、ゲストコンサート、キャラクターショーも大盛況の中無事開催されました。そして、毎年雨天のため中止になっていた、学生主催のライブハウスも無事開催することができました。

この三日間、老若男女たくさんの人たちの笑顔で溢れる将軍山祭にできたと思います。来年以降も最高の将軍山祭を作るため、委員会一同活動して参りますので、今後とも御支援・御協力の程よろしくお願いいたします。



ビューティフルホリデープランを振り返って

社会学部 社会学科 2年 秋山 美優

毎年恒例のBHP (Beautiful Holiday Plan) が今年も11月3日から5日にかけて行われました。BHPとは茨木周辺の施設の方々を将軍山祭に招待し、楽しんでいたための企画です。

BHPいうイベントは、将軍山祭のスタッフだけでなく、一般学生のボランティアの協力も必要不可欠です。今年もたくさんの一般学生に協力していただきました。施設の方々からは、このBHPを毎年とても楽しみにいただいていると伺っており、昨年よりも更に中身の充実したイベントにしたいと思い、私達は一年間頑張ってきました。「来年もまた参加したい」と思っただけのよう、BHP担当者二人で何度も話し合いを重ね、万全の態勢で本番に臨みました。当日、昨年も参加してくださったおばあちゃんや子供たちとお喋りしたり、「ありがとう」と言って折り紙や手紙をプレゼントして笑顔で帰ってゆく子供たちを見て、今まで頑張ってきて本当に良かったと思いました。

最後になりましたが、この一年間BHP担当者をあたたく見守り、支えてくださった多くの皆様、誠にありがとうございました。来年、再来年と変わらぬご理解とご支援の程、よろしくお願いいたします。



ホームカミング・デー交歓会 おかえりやす追大へ



会場では、アメリカ民謡研究部OBバンドの演奏をバックに、恩師や級友との旧交を温め合う和やかな光景が見られました。さらに今年は、同一階にて「世代をこえてー出会う、つながるー」と題して懐かしい写真や大学年年表等をまとめたパネル、また歴代の卒業アルバムを全冊展示し、訪れた卒業生たちはそれらを手に取って、思い出深そうに見入っていました。

さわやかな秋晴れに恵まれた十一月四日(日)将軍山祭の期間中に追手門学院大学の第二十二回ホームカミング・デー交歓会が食堂棟一階で開催され、多くの卒業生とその家族たちが母校に帰ってきました。

二〇一二年度
ホーム
カミング・デー



2012年度海外研修プログラム体験記

ロンドンセミナー体験記

経済学部 経済学科 二年
後中 麻里

私がロンドンセミナーに参加したのは、以前韓国短期セミナーに参加したことがきっかけです。現地ではほとんどの学生が各国の留学生と流暢な英語で話しているのを見てとても印象に残りました。私も英語を勉強して韓国の学生のように各国の人たちとコミュニケーションを取りたいと思うようになりました。

ロンドンでは短いときで一日三時間、長いときで五時間勉強するのですが、授業のほとんどが英会話の授業です。先生は私がうまく話すことが出来なくても、とても熱心に聞いてくれていました。

課外活動では、ストーンヘンジやビッグベン、ロンドンアイや大英博物館などさまざまな観光地に行きました。また、今年はセミナー期間が夏季ロンドン五輪と重なっていたため、ハイドパークでビッグスクリーン

を前に皆でオリンピックを観戦することが出来ました。現地の人たちが学生は優しく声を掛けてくれたのですが、うまくコミュニケーションを取ることが出来なくて、とても辛い思いをしました。そして、私たちのように各国から留学生が来ているのですが、彼らの英語力の高さに驚かされました。今までは、外国の人に自ら話しかけたりしなかったのですが、ロンドンセミナーから帰ってからは英語力を更に身に付けるために

カナダ現地演習体験記

国際教養部 アジア学科 三年
蓮尾 研介

私が今回このプログラムに参加したきっかけは単純で、大学生のうちに色々なところへ行ってみたいと考えていた私が誘ってきたことから私のカナダに対する興味は始まりました。

出発当日には意気揚々と伊丹空港へと出発した私ですが、楽しみと不安から前日は寝ることができませんでした。カナダへ着

くや否や皆でバスに乗り込みホームステイ先の方々が待つ場所へ行ってみると皆さん既に待っており、先生に一人一人名前を呼ばれて各々の家へ向かうこととなりました。

三日後には早速授業があり、最初は先生方のテンションの高さに圧倒される毎日でした。日本は夏休み真っ盛りであるにもかかわらず、カナダにいる私たちの平日には授業があり、休日にはカナダ観光に時間を費やすことで実に充実した

一ヶ月間を過ごすことができました。

授業スタイルは日本で受けるそれとは随分違いとても刺激的に感じました。その中で私達の英語に対する苦手意識が異常なまでに高いのを見て取れましたが、最終日に近づくにつれ皆の英語のスキルも上がっていき授業内での発言も徐々に増えていきました。

このプログラムを通して英語に対するモチベーションや自分の弱点などについて知り向き合うことがで



き、克服することで自信へと変えていくことができました。また機会があれば、という考え方はなく次は自ら機会をつくって行きたいものです。



も、国際交流にさらに感心を持つようになりました。来年は、もつと英語力を付けてもう一度英語圏の短期セミナーに参加したいです。

国際交流教育センターから2012年度秋学期交換受入留学生来学のお知らせ

秋学期に10名の交換留学生が来学しています。ぜひ、積極的に交流してください。

◆スノーカレッジ (アメリカ)

Ms. Amanda Derbidge (アマンダ ダービッジ)
(2012年9月11日から約4ヶ月間)
Mr. Ronald S Charney Jr. (ロナルド エス チャニー ジュニア)
(2012年3月27日から約10ヶ月間)

◆バルドスタ州立大学 (アメリカ)

Ms. Whitney Leigh Van Waters (ホイットニー・レイヴァン・ウォーターズ)
(2012年9月11日から約4ヶ月間)

◆フェリス州立大学 (アメリカ)

Mr. Corey John Best (コーリー ジョン ベスト)
(2012年9月11日から約4ヶ月間)

◆グリフィス大学 (オーストラリア)

Ms. Song Wenjun (ソン ウェンジュン)
(2012年9月11日から約4ヶ月間)

◆建国大学 (韓国)

李 瑜眞 (リユジン) さん
(2012年9月11日から約5ヶ月間)

◆静宜大学 (台湾)

柯 家翔 (コ チャシャング) さん
林 修平 (リン シュウピン) さん
(2012年3月28日から約10ヶ月間)

◆上海師範大学 (中国)

宋 文雯 (ソウ ウェンウェン) さん
(2012年9月11日から約10ヶ月間)

◆南京大学 (中国)

趙 崇曉 (ザオ チョンリャン) さん
(2012年3月28日から約10ヶ月間)

二〇一二年度春学期末学位授与式並びに卒業謝恩パーティー



九月二十八日(木)、二〇一二年度春学期末学位授与式が大学二号館三階会議室五にて挙行されました。

午前十時半開式、国歌斉唱後、坂井学長から八学科、一研究科の代表者に学位記が授与されま

追手門学院大学教育後援会給付奨学金交付式挙行

二〇一二年度教育後援会給付奨学金交付式を春学期、四月二十一日(土)と秋学期、九月二十七日(木)に挙行しました。

この奨学金は教育後援会の資金をもって創設し、修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生への援助を行い、学業に専念できる環境づくりを整備することを目的としています。選考によって春学期、秋学期合わせて二十名の



学生に奨学金を給付しました。

した。続いて学長式辞、来賓紹介、さらに喜多教育後援会会長、平野校友会会長、大野卒業生保護者の会長からの卒業記念品贈呈が行われました。最後に慣れ親しんだ学院歌を斉唱し、滞りなく式は終了しました。

式後、食堂棟三階にて本会主催の卒業謝恩パーティーを開催しました。喜多会長、坂井学長の挨拶に続き、川原理事長の乾杯の音頭で会食に入りました。わずか一時間余という短いひとときでしたが、恩師と卒業生たちとの間には楽しい語らいの輪が広がっていました。

特別公開講座

「おうてもん塾」

第一期、第二期開講



本会後援で会員と一般市民を対象とした特別公開講座「おうてもん塾」第一期・第二期(各全六講)を学院施設である大阪城スクエアにて開講しました。

第一期(六月～七月)は国際教養学部教員による「外国語イントロ講座」アジアのことは「編み」として英語以外の外国語「ベルシャ語、ベトナム語、韓国語などの講座を実施し、受講者からは「新しい文字に触れる楽しさを味わえた。」「短時間で充分には理解できなかったが、楽しさと身近さを感じられたことが収穫。」と好評でした。

第二期(十月～十一月)「心のカラクリを探索する」では、

保護者のための

講演会開催

心理学部教員が各々の専門分野から人の心の作用・働きについて講義し、毎回定員を超えるほど多くの方々に受講していただき盛況のうちに閉講しました。

二月五日から第三期を開講します。詳細は同封のちらしをご覧ください。全六回のうち興味のある一回のみの受講も可能ですので奮ってご参加ください。

二〇一二年度六月二十三日(土)、本会と追手門学院大学 学生相談室との共催で「保護者のため

小林先生の長年にわたるご経験から、小・中・高校だけの問題ではなく「不登校」あるいは社会で活躍すべき年代の問題である「ひきこもり」と言われる状態になっている青年期の大学生への理解と支援について、会員の皆様と共に考える機会となりました。

ロンドン五輪出場！

吉田胡桃選手(国際教養学部3年) 大会報告

この夏開催されたロンドン五輪シンクロナイズドスイミング(チーム)競技に日本代表として出場した吉田胡桃さん(本学国際教養学部3年)が、8月22日、本学院関係者に出場と5位入賞の報告をしました。報告には川原理事長、坂井学院長・学長らが出席され、赤いジャケットの公式ユニフォームを身につけた吉田さんを迎え、懇談されました。

この中で吉田さんは競技結果について、「最高の演技を個人目標に、大会には自信をもって臨むことができました。今の自分の力を発揮することができ、自分なりに最高の演技ができたと思います。」と報告しました。また、オリンピックの雰囲気について「初めてのオリンピックはこれまで参加したどの世界大会とも雰囲気が違いました。大いに刺激をもらい、良い経験になりました。」と感想を話しました。



新任教員紹介

経済学部講師

藤川 武海（ふじかわ たけみ）

経営学部教授

池田 信寛（いけだ のぶひろ）

経営学部教授

八木 俊輔（やぎ しゅんすけ）

経営学部教授

李建（リ ケン）

経営学部准教授

朴 修賢（パク スーヒョン）

心理学部講師

荒井 崇史（あらい たかし）

心理学部講師

荒木 浩子（あらき ひろこ）

社会学部教授

上石 圭一（あけいし けいいち）

社会学部教授

足立 重和（あだち しげかず）

社会学部教授

蘭 由岐子（あららぎ ゆきこ）

社会学部教授

橋本 裕之（はしもと ひろゆき）

国際教養学部准教授

承志（シヨウシ）

国際教養学部准教授

山口 公一（やまぐち こういち）

経営学部講師（任用期限付）

稲葉 哲（いなば さとし）

社会学部教授（任用期限付）

小畑 力人（おはたりきと）

社会学部教授（任用期限付）

中嶋 昌彌（なかじま まさや）

（二〇一二年四月一日付）

名誉教授称号授与

前経済学部教授

福井 南海男

元経営学部教授

山中 雅夫

（二〇一二年四月一日付）

訃報

ご冥福をお祈りいたします。

名誉教授

村山 乾一 氏

（二〇一二年三月十一日）逝去

名誉教授・元常務理事

山中 雅夫 氏

（二〇一二年十月十三日）逝去

保護者のための就職講演会・懇談会開催について

本会では保護者と学生、大学がひとつになって就職やキャリア教育に取り組むために、年二回キャリア開発課との共催で「保護者のための就職講演会」を開催しています。二〇一二年度の第一回は七月十六日(月)大学「優勝ホール」にてキャリアカウンセラー・行政書士 植村健志氏をお招きして「就活」親にできること」就活生とのコミュニケーション」と題してご講演いただきました。

植村氏は現在の厳しい就職状況について、もはや「親の出る幕ではない」とは言ってはられないとし、この就職活動が親という大人として関わる最後の時期であり、最上の関わりをもってサポートしてあげてほしい、と述べられました。

次回は一三年生の保護者を対象に、来る二〇一三年二月二十三日(土)に開催いたします。大学の就職・進路支援の取り組みや就職戦線の現状が聞けるよい機会ですので多数のご参加をお待ちしています。詳細は別途郵送の案内状（一三年生の保護者に郵送）をご覧ください。

2012 年度大学行事予定

12月1日	求人票公開（2014年3月卒業生）
3日	2年生第4回キャリアガイダンス（12/11、12/12）
4日	1年生キャリアガイダンス
6・7日	3年生第3回就職ガイダンス
9日	公募制推薦入試B日程
10日	2年生第5回キャリアガイダンス（12/18、12/19）
13日	3年生第3回女子学生のための就職講座
14日	公募制推薦入試B日程合格発表
16日	一般入試直前相談会
20日	3年生第3回就職模擬テスト
23日	冬期休業開始（1/6まで）
25日	秋学期集中講義（12/25～27、1/5）
1月10・11日	3年生第4回就職ガイダンス
19・20日	大学入試センター試験
22日	秋学期授業終了
23・24日	秋学期補講
25日	秋学期末試験開始（2/12まで）
29・30日	一般入試A日程
31日	一般入試S日程（2/1まで）
2月12日	一般入試A日程合格発表 一般入試S日程合格発表 大学入試センター試験利用入試A日程合格発表 大学院第2期入試（全専攻） 大学院博士後期課程入試（経済学・経営学） 大学院社会人入試（経済学・経営学・社会学・中国文化・英文学） 大学院外国人留学生入試（社会学・中国文化） 3年生第5回就職ガイダンス
13日	3年生春学期内企業説明会（2/22まで）
14日	3年生春学期内企業説明会（2/22まで）
22日	大学院入試合格発表（2/13実施分）
23日	保護者のための就職講演会・相談会
28日	一般入試B日程、小論文入試B日程
3月1日	秋学期末成績発表（UNIVERSAL PASSPORT） 一般入試B日程、小論文入試B日程合格発表 大学入試センター試験利用入試B日程合格発表
8日	卒業生発表
9日	卒業生発表
24日	小論文入試C日程
25日	学位授与式並びに卒業謝恩パーティー
26日	春期休業開始（3/28まで） 小論文入試C日程合格発表
29日	新3年生・新4年生オリエンテーション
30日	新2年生オリエンテーション 就職等資格オリエンテーション

50!
追手門学院大学

変わるもん、おうてもん。
2016年に創立50周年を迎えます

大学創立50周年記念事業

50周年記念事業の核となる数字「50」を「go」に見立ててビジュアル化しました。勢いよく前へ前へ進む様子を連想させる書体と「」マークによって力強さを伝え50周年を契機に、革新しながら発展していくという追手門学院大学の揺るぎない意志を表現します。「50」「go」に用いたカラーは、スクールカラーのOTEMONSKYBLUEです。